

読解

しばられ地蔵

むかし、ある村の外れにお地蔵様が立ってござった。ある時、反物の入った大きな風呂敷包みを担いだ小僧が通りかかり、お地蔵様の前まで来ると木陰で昼寝を始めたそうなの。

しばらくして小僧が目をさましてみると、風呂敷包みが無くなっておった。風呂敷包みはどこにも見当たらず、やがて小僧は大きな声で泣き始めた。その声を聞きつけて、村人が大勢集まって来た。そうして、その内、お役人達も駆け付けた。

お役人が小僧に「反物が無くなった時周りに誰かいなかったか？」と尋ねると、小僧は「誰もおらんかったが、あのお地蔵様だけは傍におった。」と答えたそうなの。お役人は「それならば、犯人はお地蔵様じゃ！」とお地蔵様に縄をかけ、縛り上げてしまった。

こうして、小僧とお地蔵様はお白州に引き出され、裁判を受けることになった。村の人々も興味深々で集まり、お白州の周りは黒山の人だかりになった。じゃが、お役人がお地蔵様をどんなに厳しく追及しても、お地蔵様は一言もしゃべりはしなかった。

何を聞いてもお地蔵様が答えないので、とうとうお役人はお地蔵様を牢屋に放り込んでしまったそうなの。それを見ていた村人達は、お地蔵様が口をきく訳がないと大笑いした。するとお役人は「裁判を見て笑ったり、野次を飛ばしたりするのは、不届き千万！罰として一人一反ずつ反物を持ってこい！」と怒ったそうじゃ。

村人は仕方なく一人一反ずつ反物を持ってきて、お白州には反物が山のように集まった。そうして、お役人はその集まった反物の中から、盗まれた小僧の反物を探しださせたのじゃった。お役人のなかなかの名判断なのじゃった。

お地蔵様はというと、反物が盗まれるのを黙って見ているとは不届き千万、罰としてそのままにしておけということで、しばらくの間、縛られたままじゃった。こういう訳で、このお地蔵様は村人から縛られ地蔵と呼ばれたそうじゃ。

ふりがな付き（重要語彙）

しばられ地蔵

むかし、ある村の外れに**お地蔵様**が立って**ござった**。ある時、**反物**の**入った**大きな**風呂敷包み**を**担いだ**小僧が通りかかり、お地蔵様の前まで来ると**木陰**で**昼寝**を始めた**そう**な。

しばらくして小僧が目をさましてみると、風呂敷包みが無くなっておった。風呂敷包みはどこにも見当たらず、**やがて**小僧は大きな声で泣き始めた。その声を**聞きつけて**、村人が大勢集まって来た。そうして、その内、**お役人**達も**駆け付けた**。

お役人が小僧に「反物が無くなった時周りに誰かいなかったか？」と尋ねると、小僧は「誰もおらんかったが、あのお地蔵様だけは傍におった。」と答えた**そう**な。お役人は「それならば、犯人はお地蔵様**じゃ！**」とお地蔵様に**縄**をかけ、**縛り上げて**しもうた。

こうして、小僧とお地蔵様は**お白州**に引き出され、裁判を受けることになった。村の人々も**興味深々**で集まり、お白州の周りは**黒山**の人ばかりになった。**じゃが**、お役人がお地蔵様をどんなに厳しく**追及**しても、お地蔵様は一言もしゃべりはしなかった。

何を聞いてもお地蔵様が**答え**ないので、**とうとう**お役人はお地蔵様を**牢屋**に**放り込んで**しもうた**そう**な。それを見ていた村人達は、お地蔵様が**口**を**きく****訳**がないと大笑いした。するとお役人は「裁判を見て笑ったり、**野次**を**飛ば**したりするとは、**不届き**千万！**罰**として一人一反ずつ反物を持ってこい！」と怒った**そう**じゃ。

村人は仕方なく一人一反ずつ反物を持ってきて、お白州には反物が山のように集まった。そうして、お役人はその集まった反物の中から、盗まれた小僧の反物を探しださせたの**じゃ**った。お役人のなかなかの名判断なの**じゃ**った。

お地蔵様はというと、反物が盗まれるのを黙って見ているとは**不届き**千万、**罰**としてそのままにしておけということで、しばらくの間、縛られたまま**じゃ**った。こういう**訳**で、このお地蔵様は村人から縛られ地蔵と呼ばれた**そう**じゃ。

重要語彙

- **お地藏様**：道端などに立っている仏様の石像
じぞうさま みちばた た ほとけさま せきぞう
- **ござる**：「ある」の昔話の言い方
むかしばなし い かた
- **反物**：着物を作るための長い布
たんもの きもの つく なが ぬの
- **風呂敷包み**：大きな布で物を包んだもの
ふるしきづつ おお ぬの もの つつ
- **担ぐ**：肩に乗せて持ち上げる
かつ かた の も あ
- **小僧**：年の若い少年、お店で働く見習いの子
こぞう ねん わか しょうねん みせ はたら みなら こ
- **木陰**：木の下の日が当たらない涼しい場所
こかげ き した ひ あ すず ばしょ
- **～そうな**：「～だったそうだ」の昔話の言い方
むかしばなし い かた
- **やがて**：しばらくすると、そのうちに
- **聞きつける**：離れた所から声や音に気づく
き はな ところ こえ おと き
- **お役人**：政府や藩の仕事をする役人
やくにん せいふ はん しごと やくにん
- **駆け付ける**：急いでその場所に来る
か つ いそ ばしょ く
- **～じゃ**：「～だ」の古い言い方、昔話の表現
ふる い かた むかしばなしひょうげん
- **縄をかける**：縄で体を巻いて捕まえる
なわ からだ ま つかま
- **縛り上げる**：紐や縄できつくしばる
しば あ ひも なわ
- **しもうた**：「～してしまった」の方言の言い方
ほうげん い かた
- **お白州**：江戸時代に裁判をした場所
しらす えどじだい さいばん ばしょ
- **興味深々**：とても知りたくて関心が強い様子
きょうみしんしん し かんしん つよ ようす
- **黒山の人だかり**：大勢の人が集まっている様子
くろやま ひと おおぜい ひと あつ ようす
- **じゃが**：「しかし」「だが」の古い言い方
ふる い かた
- **追及する**：厳しく問いただす
ついぎゅう きび と
- **とうとう**：最後にはついに、結局
さいご けっきょく
- **牢屋**：罪を犯した人を閉じ込める場所
ろうや つみ おか ひと と こ ばしょ
- **口をきく**：言葉を話す、しゃべる
くち ことば はな
- **～訳がない**：～するはずがない、絶対にない
わけ ぜったい

- 野次を飛ばす：周^{まわ}りから大^{おお}声^{ごえ}でからかう
- 不届^{ふとど}き千^{せん}万^{ばん}：非^ひ常^{じょう}にけしからない、許^{ゆる}せない
- 罰^{ばつ}：悪^{わる}いことをした人^{ひと}に与^{あた}える懲^こらしめ